

論
私の卒業プラン

手がかりとなる文献

水野和夫『資本主義の終焉と歴史の危機』集英社新書 2014年

きっかけ

世界各国は経済成長を掲げ、日本ではアベノミクスを行っている。経済成長を遂げるために規制を緩和してバブルや様々な問題を助長していると疑問に思った。

要旨

はじめにー資本主義が死ぬときー

第1章 資本主義の延命策でかえって苦しむアメリカ

- ・ 経済成長という信仰
- ・ アメリカの資本主義の延命策ー「電子・金融空間」の創造 実体経済でわろわろす
- ・ 賞味期限切れになった量的緩和政策ーバブルに

第2章 新興国の近代化がもたらすパラドックス

- ・ 先進国の利潤率低下が新興国に何をもたらしたのか 実体経済がわろわろない
- ・ 現代の「価格革命」が引き起こした実質賃金の低下
- ・ 新興国の近代化がもたらす近代の限界
- ・ グローバル化と格差の拡大

第3章 日本の未来をつくる脱成長モデル

- ・ バブルは資本主義の限界を覆い隠すためのもの
- ・ 「自由化」の正体
- ・ 金融緩和をしてもデフレは脱却できない
- ・ ゼロ金利は資本主義卒業の証
- ・ 前進するための「脱成長」

第4章 西欧の終焉

- ・ 「中心/周辺」構造の末路

第5章 資本主義はいかにして終わるのか

- ・ 近代の「定員15%ルール」 官給下は15%
- ・ 未来からの収奪 公共事業は
- ・ バブル多発時代と資本主義の退化
- ・ ゼロ成長ですら困難な時代
- ・ 脱成長という成長

おわりにー豊かさを取り戻すためにー

調べたい点、解明したい点、問題意識

- ・成熟している先進国もこれ以上に経済成長できるのか
- ・ゼロ成長 マイナス成長ではいけないのか
- ・経済成長をするにはどうすればいいのか
- ・資本主義を考える転換期ではないか ピケテ
- ・GDP や株価の数値を上げることが成長なのか
- ・経済成長の「数字」よりも「質」が大切ではないか 雇用なき成長
- ・豊かさとは
- ・これからの世界経済を考える

FRB 雇用
 (金融緩和の終わり)
 失業率↓

卒論題名(仮)

『資本主義を考える』 ゼロ成長

参考文献一覧

1. 水野和夫『資本主義の終焉と歴史の危機』集英社新書 2014年
2. NHKスペシャル取材班『マネー資本主義』新潮社 2012年
3. 神谷秀樹『強欲資本主義 ウォール街の自爆』文春新書 2008年
4. 盛山和夫『経済成長は不可能なのか 少子化と財政難を克服する条件』中公新書 2011年
5. 水野和夫・大澤真幸『資本主義という謎 「成長なき時代」をどう生きるか』NHK出版新書 2013年
6. 浜矩子『恐慌の歴史 “100年に一度”の危機が3年ごとに起きる理由』宝島社新書 2011年

水野和夫著

未定

「新・資本主義宣言」～6/23付

↓
 水野和夫著を整理する